

eスポーツ腕前競う

常陸大宮市上小瀬の県立小瀬高校（桜井良種校長）で5月27日、クラスマッチが行われ、コンピュータゲームの腕前を競う「eスポーツ」が初種目になり、生徒に好評だった。

同校クラスマッチは例年、球技会として行っていたが、球技が不得意で好きでない生徒もいたため、生徒会が「より多くの生徒が活躍でき、みんなが楽しめる行事にした」と考えた。

生徒にアンケートした結果、バドミントンや卓球、ドッジボールのほか、

常陸大宮高 小瀬 クラスマッチ初採用



レースゲームでeスポーツを楽しむ生徒ら＝常陸大宮市上小瀬の県立小瀬高

eスポーツ、オセロ、「逃走中（鬼ごっこ）」の一種」

などが挙げられた。検討の上、全員参加のドッジボールと、選振種目のバドミントン、卓球、そしてeスポーツとしてアクション

オンラインゲームと対戦アクションゲームを加えた。

eスポーツは、大画面が映せる体育館で行われ、カートレースでは、1〜3年生までが3人1組で対戦。コントローラを操りながら4レース3セットの合計ポイントを争い、生徒たちは一喜一憂しながら楽しんだ。

内藤和生さん（2年）は「球技が苦手な人も楽しめた」、矢野優斗さん（3年）は「応援者がたくさんいて盛り上がった」と話した。金子愛奈さん（1年）は「先輩と触れ合う機会が少なかったが、みんな楽しんで」と喜んだ。（高島和弘）